第１８９回 長崎大学ＦＤ実施報告書（平成３１年２月２５日提出）

１．題　目：「成績評価ガイドライン」の改定に伴うシラバス作成支援

２．日　時：平成 31 年 2 月 13 日（水）16：30～17：30

３．場　所：教育学部 2 階 第 5 会議室

４．主　催：大学教育イノベーションセンター

５．対　象：全教職員（非常勤を含む）

６．長崎大学ＦＤに関する申合せ第２項への該当について【複数選択可】
（該当するものに○を記入すること）
［　○　］(1)　教員の教育活動に関するもの
［　　］(2)　カリキュラムの改善に関するもの
［　　］(3)　教育の組織的改善に関するもの
［　　］(4)　入学者選抜方法の改善に関するもの
［　　］(5)　その他教育改善及び入学者選抜の改善に関するもの

７．今回のＦＤの趣旨・意義（６．に関連した形で記述すること）
10 月 15 日の第 7 回教務委員会において「成績評価ガイドライン」の改定が承認されました。それに伴い，成績評価基準が明記され，到達目標の水準について明確に定められました。本 FD では、そうした成績評価ガイドラインの改定点について説明するとともに，シラバス作成支援を行います。

８．プログラム構成［題目・担当講師］（当日使用した資料等を添付すること）
［題目・担当講師］
題　　目：「成績評価ガイドライン」の改定に伴うシラバス作成支援
① シラバスの作成要領の確認
② 成績評価ガイドラインの改訂点について
③質疑応答ほか
担当講師：成瀬尚志 准教授（大学教育イノベーションセンター）

９．参加者：１名

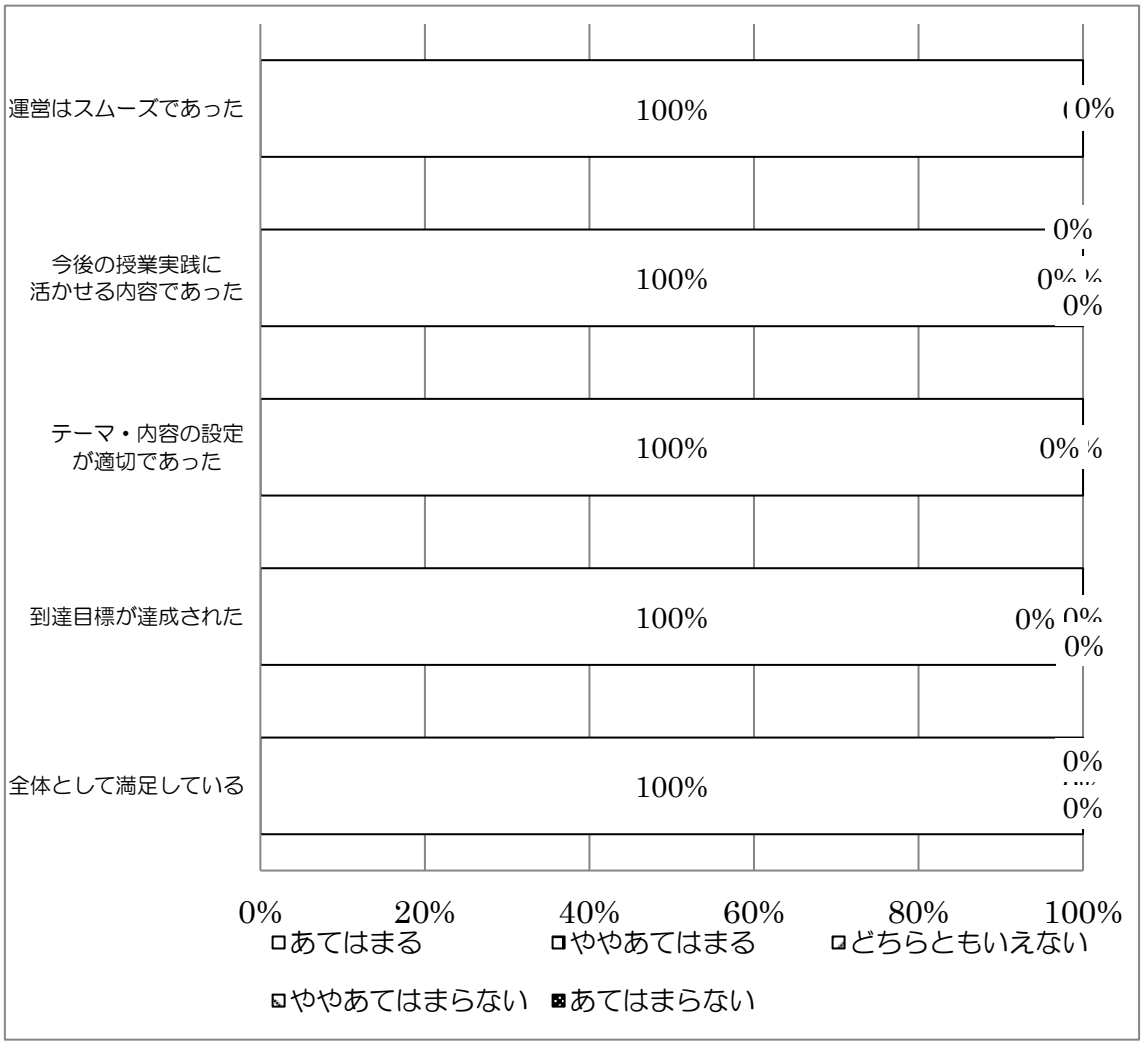
（内訳）

所　　属	人　　数
医歯薬学総合研究科（医学系）	1
計	1

※　別紙に参加者名簿を添付してください。

１０．実施したＦＤの成果等

（１） 参加者からの評価（アンケートの集計結果を記述する）



Ⅱ．今回のプログラムについて、お気づきの点・ご意見・ご感想をご記入下さい。

・簡潔で分かりやすかったと思います。今後の参考にしたいと思います。

（２） 総　括（１０（１）を踏まえＦＤ全体の総括を記述する）

本 FD は成績評価ガイドラインが改定されたことにともない、シラバスの作成要項について解説するものとして開催された。今回の成績評価ガイドラインの改定は、本学の中期計画でも謳われており、また、3 巡目の認証評価にあたっても非常に大きな意味を持つものである。

成績評価ガイドラインの改定のポイントは、到達目標に関して明確な定義がなされるようになった点が上げられる。到達目標には観点と水準があり、観点は学部あるいは全学のディプロマポリシーを考慮に入れて設定すること、また、水準に関しては「その科目で最低限身につけなければならないものとする」と定められ、カリキュラムマップを考慮して設定することとなった。また、成績評価基準として C 評価の基準が「授業科目の到達目標を満たしており、授業で身に付けるべき最低限の内容を習得している」と定められた。こうしたことから、到達目標は C 評価を意識して設定することが求められるようになった。さらに、テストやレポートやプレゼンテーションなどを評価する際には、ルーブリックなどの客観的な採点基準を用いて採点し、成績評価のエビデンスを残すことも明記された。こうしたことから、絶対評価としての成績評価を厳格に行うために必要となる指針が定められたことがわかる。今回の FD ではこうしたポイントについて説明がなされた。11 月にも同プログラムを 3 キャンパスで実施したが、今回は参加者が少なかったため、今後は広報にも力を入れていく必要がある。（文責：成瀬尚志）

１１．実施代表者の連絡先

氏名：成瀬 尚志
部局：大学教育イノベーションセンター
e-mail：naruse@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2773

１２．申請者の連絡先

氏名：成瀬 尚志
部局：大学教育イノベーションセンター
e-mail：naruse@nagasaki-u.ac.jp　　内線：2773